



(No. 38) 2025 年 4 月 25 日発行

長野工業高等専門学校同窓会

〒381-8550 長野市徳間 716

TEL 026-295-7055

<https://nnct-doso.net/>

※各広告をクリックいただくことでそれぞれの
企業様の HP をご覧いただけます。

学生の潜在的なアイデアをカタチにする取り組み「エンジニアリングデザイン入門」のご紹介

エンジニアリングデザイン入門担当 轟 直希

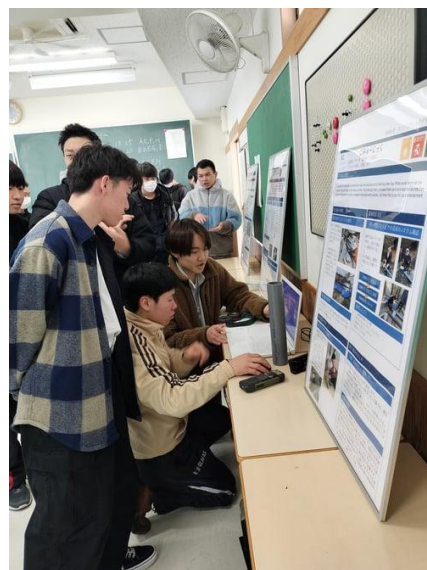
本校では、令和 4 年度の改組にて教育カリキュラムが見直され、分野横断的能力を醸成するための科目が拡充されました。そのひとつである「エンジニアリングデザイン入門」は、地域や社会の課題について、試行錯誤しながら課題解決や検証を目指す PBL 型授業で、令和 5 年度よりスタートした 2 年生の新設科目です。

本科目では、異なる系の学生から構成された 4～5 名程度のグループごとに課題を見出し、それを解決するアイデアを出し合い、解決するための“ものづくりの試行”や“アイデアを具体化するための提案”をまとめていきます。

令和 7 年 2 月 20 日に開催された「エンジニアリングデザイン入門成果発表会」では、41 チームの成果発表がポスター形式で行われ、多くの学生や教職員で会場は賑わいました。試作品等を展示・実演するチームもあり、アイデアにとどまらず、カタチに発展させていくエンジニアリング・デザイン能力の醸成に繋がる取り組みとなりました。

さらに本報告会には、カナダからの留学生（Saskatchewan Polytechnic）も参加し、時には英語を交えて自らの取り組みを紹介する学生の姿も見受けられました。令和 6 年度は、リンゴの中に含まれる蜜量が光によって計測できることに着目し、計測装置の試作や機械学習によって蜜量を自動判定するシステムを試行したグループが最優秀賞を受賞しました。

なお、今年度からは「エンジニアリングデザイン実践（4 年生）」がスタートすることから、企業等とも課題を共有しながら、社会実装や事業化を見据えたより実践的な取り組みへ発展させていく予定です。



JOIN OUR TEAM

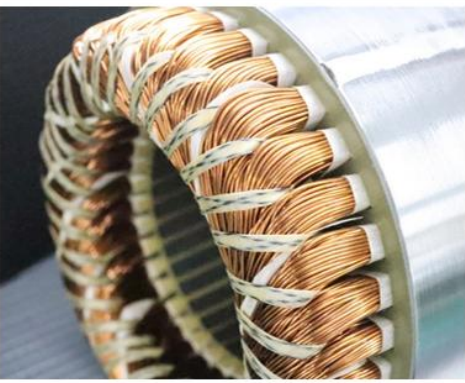
究極の特殊モータへ挑戦を

 **ゴコー電機株式会社**

設計者 中途採用募集中！

長野県諏訪郡富士見町落合字南原山13414-1
TEL : 0266-62-5283
MAIL : goko@goko-denko.co.jp
HP : <https://www.goko-denko.co.jp>









JIS Q 9100 認証範囲：
（航空・宇宙・防衛機器用モータ及び
発電機の部品の設計・開発及び製造）




長野高専オープンラボ開所

地域共同テクノセンターオープンラボ推進担当特命教授（12期電気工学科） 浅沼和志

令和5年度に開校60周年の節目を迎えた私たちの母校。工学系としての新たな学校の教育体制の枠組みが始まりましたが、産学連携活動でも「長野高専オープンラボ」という新しい組織体がスタートしました。



令和6年10月29日：長野高専オープンラボ開所式の様子

左は江崎尚和 前長野高専校長
右はアピックヤマダ(株) 斉藤高志 技術開発部長

左は江崎尚和 前長野高専校長
右は山洋電気(株) エレクトロニクスカンパニー 成沢康敬 副社長

平成12年にキャンパス内に設置された地域共同テクノセンターの2階に、「オープンラボ室」が設けられ、令和6年10月29日の開所式を経て、活動の産声をあげました。

地域産業界には、地域独自の多様性と高度な技術力を併せ持った国際競争力の高い、数多くの企業が存在しています。長きにわたり（一社）長野高専技術振興会とともに地域との連携を深めてきた長野高専では、令和5年度より地域共同テクノセンターを軸にして地元企業を中心とした地域企業が抱える課題のヒアリングや打ち合わせを重ね、地域の特徴を活かした形で活性化を図る連携活動として、より実践力に重きを置く『長野高専オープンラボ』の構想を練り上げて、令和6年10月にスタートするに至りました。

令和7年4月1日現在、（一社）長野高専技術振興会会員企業のアピックヤマダ株式会社様（2025年7月からヤマハロボティクスに社名ご変更予定）と山洋電気株式会社様の2社が、「長野高専オープンラボ」のシステムで活動を展開されており、それぞれの企業と長野高専との総合的な研究活動が始まっています。

アピックヤマダ株式会社様は“アピックヤマダ未来技術研究室”を、山洋電気株式会社様は“パワエレ未来研究室”を、それぞれ設けられ、各社の連携活動代表者の方には“長野高専客員教授”の称号が付与されました。

それぞれの企業が抱える課題を長野高専に持ち込み、課題と向き合う研究活動として、分野を横断しての関連する複数の教員と学生の参画による連携推進活動ですが、通常の産学連携で広く行われている共同研究視点のみにとらわれない人材育成などの実践力に重きをおくことを目指します。特に、活動に加わる長野高専の学生においては、「長野高専オープンラボ」を活用される企業の方々と直接交流を進めることになり、実践的な技



地域共同テクノセンターに設置された
オープンラボ室

術や知識のスキルが習得できることが期待されます。

「長野高専オープンラボ」による活動をスタートされたアピックヤマダ株式会社様、山洋電気株式会社様におかれましては、これまで多くの長野高専卒業生を採用いただいております。「長野高専オープンラボ」の活動にも複数の長野高専卒業生の方々が直接関わられています。技術が人を呼び、人と人のつながりが育まれ、長野高専と地域企業とのつながりの深みがさらに増していくことが期待される中、令和7年度は、新たに2件を目標とし準備を進めています。「長野高専オープンラボ」のご活用にあたっては、2年間の研究連携活動費用として概ね700万円をご投資いただくこととなりますが、企業様には学生教育にもご参加いただきながら、企業様内での人材育成にお役立ていただけるよう研究連携活動を展開させていただくとともに、活動を共にする学生たちが、将来につながる興味を見出すことができれば、「長野高専オープンラボ」活用企業様にとりましてはJOB型での学生のご採用などの夢も広がる可能性も期待されます。

「オープンラボ室」内には、長野高専の全学生に（一社）長野高専技術振興会の会員企業を知ってもらうことを目的に、企業紹介コーナーも常設しています。

まだ半年ほどの歩みになりますが、地域活性化という大海に帆を進め始めた「長野高専オープンラボ」の船出は、長野高専を支えていただいているすべての方々のお力添えがあってこそ感慨もひとしおです。更なる地域活性化に貢献できればと、同窓会会員のみなさまの熱いご支援をいただければ幸いです。

〈長野高専オープンラボ活動に参画されているアピックヤマダ(株)の長野高専卒業生のみなさま〉



左から

- ・2017.3AP 卒（48期M）：小宮山立也さん
- ・58期E 卒：中村 颯さん
- ・43期M 卒：野村祐大さん
- ・29期M 卒：斉藤高志さん
- ・48期S 卒：山本修さん
- ・31期J 卒：大橋（旧称：近藤）好美さん
- ・48期S 卒：小林将史さん
- ・筆者

（アピックヤマダ(株)本社社屋にて 2025.4.7 撮影）

一般社団法人長野高専技術振興会

技術相談・共同研究・インターンシップ・各種講座（スキルアップ、学び直し等）・学生支援などの事業を行っています。2025年3月現在396社（企業、団体、個人）の会員様により運営されております。5月より本年度の各種講座を開催しますのでご利用ください。本年度より、出前講座にも力をいれてまいります。会員企業様の要望に応じた講座をご提案させていただきますので振興会、または地域共同テクノセンターまでご相談ください。



テクノセンターHP

連絡先 長野高専地域共同テクノセンター内
☎026-295-7117 mail:nrtc71@nagano-nct.ac.jp
振興会HP <https://www.tech-kosen.jp/>

振興会HP



クラス会・同窓生の集まり情報

喜寿を祝う「獅子の会」を長野にて開催

・旅はまだ終わらない・

2期機械工学科 原田長治

異常な暑さの和らいだ10月下旬、一泊二日で長野駅近くの「ホテル信濃路」で開催しました。獅子(S44年卒)の会は6年前に木曾にて実施した「古希を祝う会」以降コロナ騒動により開催されておらず期待の再開となりました。



獅子の会 国立長野工業高等専門学校 二期同期会 於 ホテル信濃路 2024年10月23日

徳間の学び舎を育った地上の星たち120名もこの長い月日のなかで残念にも銀河に旅立った星たち16名、長野に参集できた星は25名、神戸、千葉方面等12の都府県からの参加でした。この中には紅一点の小林さんの参加もあって盛大かつ和やかな会となりました。参加者一人ひとりが3分間でこれまでの足跡や今を生きる人生訓、近況など発言しあい約2時間皆の元気を確認しました。

酒の入った懇親会では60年前の学生時代に戻り若き日のセピア色の思い出も12色の完全カラーによりみがえらせた一夜となりました。翌日は学校見学で寮や実習工場などをめぐりさらには地域共同テクノロジーセンターを訪問しセンター長からその取り組みを紹介いただき眠りかけた技術者魂に刺激を受けました。(2期獅子の会は長野高専技術振興会会員登録済です)

この仲間に元気をもらいながら喜寿まで歩んできましたが、我々の「♪ 旅はまだ終わらない ♪」ヘッドライト・テールライトは輝いています。次は「傘寿」! 頑張ろう・・・の発声で解散しました。

電子デバイス・電子関連機器に関する技術及び製品開発をサポートする
総合ソリューションカンパニー

SHIIMA

シーマ電子株式会社
◆ 設計・試作・評価センター
山梨県韮崎市龍岡町下条南割995番440
TEL: 0551-23-0642 FAX: 0551-23-0644

◆ 本社
神奈川県横浜市中区花咲町二丁目82番地
貞華ビル
TEL: 045-260-1530 FAX: 045-260-1535

Q 採用サイト <https://recruit.shiima.co.jp/>

クラス会・同窓生の集まり情報

2024 年度長野高専 C 科同窓会開催報告

C 科同窓会役員 (38 期) 丸山健太郎

2024 年 11 月 30 日 (土) にホテルメトロポリタン長野において、総勢 94 名の出席者により、長野高専 C 科同窓会が開催されました。



総会は、堀内篤理事(28 期)の司会、佐藤安則副会長(19 期)の開会の言葉に続き、宮入賢一郎会長(17 期)の挨拶で始まりました。その後、議長に選出された釘持和紀副会長(20 期)の進行で、2023 年度の活動報告、会計報告、2024 年度の活動計画、予算案が承認され、佐藤安則副会長(19 期)の閉会の言葉で総会は閉会となりました。

総会後の特別講演会は、釘持和紀副会長(20 期)による司会で進行しました。「土木屋さんは郷土史研究家」と題して、9 期の宮下秀樹氏にご講演をいただきました。宮下氏からは、研究を始めたきっかけと郷土史研究の面白さ、研究の中で刊行した著書「煤花川清淡急流 一級河川裾花川河川災害改修史抄」についてお話をいただきました。また、暴れ裾花川を鎮めた人々の紹介の中で、学生時代にお世話になった故山崎陽三先生の偉業と残したお言葉についてもご紹介いただきました。

特別講演会の後に、CE 系の先生の代表として酒井美月先生(31 期)から「最近の長野高専について」お話をいただきました。

懇親会は、丸山菜緒理事(42 期)の司会で進行し、宮入賢一郎会長(17 期)の挨拶、来賓の新建新聞社小池裕之室長から話題提供があり、長野高専本科同窓会長の小河原敏男様(11 期M科)の挨拶と乾杯の発声で祝宴が始まりました。その後、遠藤先生、浅野先生、酒井先生、轟先生、奥山先生、大原先生にお話ししていただき、長野高専技術振興会の理事の田中先生と恩師の松岡先生からお言葉をいただきました。恒例の年男・年女のひと言では、6 期、18 期、30 期、42 期、54 期の代表からお話をいただきました。

久しぶりに会った同級生や、先輩、後輩、恩師の先生、学校の先生方との歓談で、あっという間の 2 時間でした。最後は恒例の校歌を幻の 3 番まで歌い、遠藤先生による万歳三唱で締められました。



MATSUMOTO BREWERY

株式会社松本ブルワリーは松本山雅FCを応援しています
松本市中央 3-4-21 matsu-brew.com

クラス会・同窓生の集まり情報

長野高専電気電子工学科 50 期生同窓会活動報告

50 期電気電子工学科 竹沢和仁

この度、高専時代の電気電子工学科の 50 期生で、長野と東京の 2 会場に分けて同窓会を開催いたしました。卒業以来の人とは、実に 8 年ぶりの再会です。

10 月 12 日（土）に長野で開催された会には、生徒 3 名、当時の担任の百瀬先生（百瀬成空さん）1 名、教授の鈴木先生（鈴木宏さん）1 名の計 5 名が参加しました。10 月 19 日（土）の東京・新宿での会には最初 7 名が参加し、2 次会から 1 名が加わり計 8 名での開催でした。

残念ながら、直前で新型コロナにかかってしまい参加できなかったり、当日や翌日の仕事のため参加できなかったメンバーもいましたが、それぞれの立場で活躍している様子が伝わってきました。8 年ぶりの再会にも関わらず、昔と変わらず話が弾み、後半は当時の写真も見ながら懐かしく語り合いました。

話題は、他の友人たちの今どこで何している？という近況や、結婚、数日前に入籍などのおめでたい話題でも盛り上がりました。お仕事も大変な場面もありながらそれぞれ頑張っているようで、出社だったり、ほぼフルリモートだったり、半分出社のハイブリットだったり集まった数人の中でも様々でした。

また、休日の過ごし方についても話が広がり、近郊に遊びに行っていたり、旅行をしていたり、ゲームを購入してもクリアできずに積んでしまったりと、大人になった自分たちの変化を実感する場面もありました。会の中では、数人のメンバーに LINE のビデオ通話を繋ぎ、この機会に懐かしいメンバーとも話をする事ができ、より一層盛り上がりました。先生方もお元気そう

で、僕達の世代の話や最近の生徒の話などもお聞きできて、大変楽しい時間を過ごすことができました。

（改めて僕達の世代は、結構はっちゃけていたんだなという印象でした）今回話せなかったメンバーの近況も聞きたいという声もあり、各地でそれぞれ違う生活を送っているため、次回はオンライン飲み会も併せて開催もありだねという感じです。

今後は今回ほど長く期間が空くことなく開催していきたいと考えています。今回の同窓会は、久しぶりに懐かしい友人たちと再会し、お互いの近況を報告し合うとともに、当時の楽しい思い出を共有できた貴重な機会となりました。今後もこのような機会を設け、皆で親睦を深めつつ近況把握もしていけたらと思います。



株式会社ウィッツ

Creating Life of Your Dreams

～半歩先の技術で人々の生活を豊かに～

組込みシステム開発を中心とした開発を行うソフトウェア企業です。

産官学の連携により、研究開発を行い、次世代の技術を実用化しています。

私たちのコア技術は、自動車のみならず産業機械・デジタル家電・医療・鉄道などに活用できる技術です。IoT (Internet of Things) / CPS (Cyber-Physical

System) の発展に伴い、組込み製品は自動化・自律化が進み、今以上に人々の生活に関わると考えております。

ウィッツでは、一緒に半歩先の未来を作っていく社員を募集しています。

～新卒／中途採用絶賛募集中～



連絡先 株式会社ウィッツ

☎052-957-3331 E-mail : employment@witz-inc.co.jp

HP <https://www.witz-inc.co.jp/>

クラス会・同窓生の集まり情報

長野高専軟式庭球部「長野県ソフトテニス連盟功労者表彰を祝う会」を開催

「長野高専軟式庭球部長野県ソフトテニス連盟功労者表彰を祝う会」が、令和6年10月11日（日）、ホテルメトロポリタン長野（長野市南石堂町）にて卒業生主催で、開催されました。

本校軟式庭球部は「令和6年度長野県ソフトテニス連盟功労者表彰」を団体として受賞しました。本賞は「県内各学校のソフトテニス部の伝統を守り、模範的な成績を上げたソフトテニス部」を表彰するもので、受賞理由の詳細は下記のとおりです。

- 昭和38年の学校設立当初より活動を行っている
- “高等専門学校”の特色を活かし、本科～専攻科までの幅広い年齢層で日々ソフトテニスの競技力向上を目指し、継続的に活動を行っている
- 全国高専大会団体戦に平成元年から起算して17回出場、うち平成13～15年度、平成17～19年度、平成21～27年度は3年以上の連続出場
- 平成19年度には全国高専大会団体戦において優勝
- 令和元年度には全国高専個人戦男子の部において赤羽・宮嶋ペアが優勝
- 令和5年度、関東信越地区高専大会団体戦において、昭和39年の第1回大会開催時から通算で20回目の優勝を収め、特別表彰受賞



本校設立当初より団体として継続的に活動を行い、全国学校対抗戦の連続出場と平成19年度、令和元年度の団体・個人における優勝実績が評価され、受賞に至りました。この場を借りて、軟式庭球部における活動にご尽力いただいた皆様、学校関係者の皆様に深く感謝申し上げます。祝賀会に先立ち行われた本校テニスコートでのOB会（昼の部）では、現役生も含め40名以上のメンバーが集い、親睦を深めました。卒業生の中には今もソフトテニスを続けている者もいれば、ラケットも靴もどこかに行ってしまった者、ラケットがゴルフクラブに変わった者など様々ではありましたが、久しぶりの母校のテニスコートで当時を思い出しながら汗を流しました。祝賀会では当部のOBであり、顧問も務められた第2期岸様のお声がけにより、部

の創設に携われた第1期 両角様も駆けつけていただきました。学校設立当初、テニスコートの整備もままならない状況の中、努力と工夫により全国大会出場を果たしたエピソードを当時の貴重なお写真とともに伺うことができました。なお、本会は45～47期卒業生を中心に幹事を組織し、実施させていただいたものとなります。幹事の力不足により多くの先輩方にお声かけすることができず、大変申し訳ございませんでした。今回のつながりを機にさらにOB間の繋がりを強めるべく活動を継続していきたいと思っております。

最後に、本会開催にあたりご支援を賜りました長野高専同窓会ならびに関係の皆様へ改めて深く感謝申し上げます。

クラス会・同窓生の集まり情報

男子バレーボール部 OB 会

48期電気電子工学科 大日方勇太

去る2024年12月28日、長野高専男子バレーボール部OB会を開催しました。「現役部員達が新しいユニフォームを買いたいけれど、一式揃えるのはなかなか費用がかかる・・・」そんな声が聞こえてきたこともあり、OBで支援しようじゃないかと同期と連絡をとりました。せっかくですので、ただ集金するだけではなくOB会という形で久しぶりに集まって、バレーを楽しみつつ歓談する場設けたいと考え、2023年の年末に初めて企画・開催をしたところ、世代の垣根を越えて20名ほど集まっていただきました。やはり集まると思い出に花が咲くもので、部活動は貴重な時間であったなと改めて感じております。冒頭のとおりの2024年の年末も引き続きOB会を開催したところで、今後も検討していきたいと思っております。長野高専男子バレーボール部及びその他長野高専のあらゆる部活動・同好会の皆さんのさらなるご活躍を期待しております！





SHOSHIN
SPEED SPRAYER

念いを形に 形を未来へ

SINCE1956 長野県須坂市
ショーシンは果樹園向け農業薬剤散布車スピードスプレーの専門メーカーとして高効率で環境に優しい製品を提供しています

WEB : www.shoshin-ss.co.jp
TEL : 026-245-1611



映像による製品説明をご覧ください
ます。

クラス会・同窓生の集まり情報

令和6年度しなの木会（長野県職員同窓会）総会開催報告

27 期土木工学科 北村雄一

令和6年度しなの木会（会員総数 124 名）の総会が令和6年11月8日（金）ホテルメトロポリタン長野において盛大に開催することができました。同窓会から過分なるご祝儀を頂戴するとともに、小河原同窓会長から心温まるメッセージをいただきました。ありがとうございました。

当日は、来賓として顧問の長野県議会議員 服部宏昭様と学校から古本吉倫教授、会員38名の計40名が出席しました。今年度の新規入会者は7名ですが、そのうちの6名は古本先生が4・5年で担任されていたとのことで、この半年間の成長した姿に感動（感涙？）されていたことが印象的でした。

普段は県内各地に配属され、一同に会するのはこの総会ぐらいであり、総会後の懇親会では、各自の近況や各種情報交換で盛り上がり、世代を超えて懇親を深めることができました。古本先生によると、来年度も同じくらいの新規会員をお迎えできそうで、今後も本会の発展が期待されるそうです。最後は新規入会者7名による万歳三唱で締めて、来年の再会を誓い合いました。



新規入会者による万歳三唱とそれを見つめる古本先生

マリモ電子工業株式会社

【経営方針】

ハードウェアからソフトウェアまで、また、開発工程の上流から下流まで全ての工程を、一貫して設計開発できる **開発専門企業** として、高い技術力を持つてお客様の製品開発を手助けし、社会および企業の発展に寄与することを使命とします。

更に、これを実現するために **高い技術を持った技術者** かつ **人間力豊かな社員** を育成します。

〒386-0032 長野県上田市諏訪形1071番地

☎0268-27-9644 mail: eigyo-section@marimo-el.co.jp

<https://marimo-el.co.jp>



クラス会・同窓生の集まり情報

2024 年度東信州高専会

東信州高専会事務局（20 期機械工学科） 市川敬夫

コロナ禍により 2020 年から開催ができずにおりました東信州高専技術研究会（東信州高専会）が 6 月 5 日に信州大学繊維学部を会場に開催され、東信各地から会員の皆様にお集りいただきました。

東信州高専会は 2011 年に、名誉教授の坂口先生（東御市在住）が声をかけられて立ちあがりました長野高専を応援する東信地域の組織になります。年に 1 回、会員が集まり、勉強会や交流会を通して幅広い年代の同窓生の皆さんがあつまり楽しみながら情報交換を行っています。

今回は、久しぶりの開催となりましたので、発起人である坂口先生と長野高専振興会の池田会長より、現在の経済状況などから東信州高専会の今後の活動の在り方などをご説明いただきました。本年度は講演会などの設定はなく、長野高専から副校長の田中先生をお招きして現在の学校の状況などをご説明いただきました。終了後同学部の食堂にて懇親会が開催されました。

詳細は長野高専技術振興会、技術支援部市川までお問合せください。



同窓生の集まり よりご報告

同窓生の丸山浩由様に哀悼の意を表します

長野工業高等専門学校 32 期電気工学科 中山英俊
（長野高専サッカー部 OB 会連絡窓口担当）

2025 年 1 月 22 日夜に長野駅前で発生した事件において、28 期機械工学科でサッカー部で活躍された丸山浩由様(28 期 M 科)がご逝去されたことをご存知の方も多いかと存じます。全国ニュースでも報じられた事件であり、突然の訃報に関係者として謹んでお悔やみ申し上げます。

故丸山浩由様は、長野高専在学中にサッカー部の GK として活躍し、特に部長を務めた 5 年次には頼れる守護神としてチームを牽引して全国大会(H6 年度第 27 回大会)に出場するなど、多大な貢献がありました。本校卒業後も、地元で郵便局に長く勤務され、休日には地元のサッカークラブでコーチとして活躍されました。その親しみやすい人柄から誰からも好かれ、子ども達にも愛される人でした。葬儀では、非常に大勢の参列者とともに多くの供花が捧げられ、長野高専、長野高専同窓会および長野高専サッカー部 OB 会からもお花が供えられました。長野高専サッカー部では、今年度の秋の OB 戦・懇親会は、故丸山浩由様を偲ぶ会として実施する予定です。

クラス会・同窓生の集まり情報

同窓会 欧州支部発足

36 期機械工学科 阿部修子

2025 年 1 月、欧州支部の第 1 回同窓会を開催しました。
今回は治安と交通の便が良いオランダ王国のアムステルダムで、0 次会はスペインバル、1 次会は日本串焼き屋で、25M2 翠川さんの乾杯の御発声と共に和やかに歓談開始となりました。異国とは思えない焼き鳥クオリティに舌鼓を打ちつつ、高専時代の思い出や先生方の話、新しくできた施設、誰と誰が同級生、この人が教授に！？など話題はつきませんでした。

記念撮影をしようと幹事が用意した「欧州支部同窓会」のフリップに対してどこの同窓会か分からないとダメ出しが入り、急遽 37M 原くんに「長野高専」の文字を書き足してもらいました。下書きなしで無茶振りに応えてもらい、おかげさまで和気藹々とした愛校心あふれる写真が撮れました。

34E ザムリザンさんに閉会のご挨拶を頂き、次回も集まることを確認しあつての解散となりました。次はドイツ開催になるかもしれません。



メンバーは今のところ 25 期～37 期の数名のみです。ヨーロッパ在住の長野高専出身の方、是非欧州支部の同窓会にご参加ください。また、出張や旅行等での飛び入り参加也大歓迎です。同窓会事務局 (info@nnct-doso.net) までご連絡をお待ちしております。



長野高専基金

—ご支援のお願い—



「長野高専基金」<https://www.nagano-nct.ac.jp/guide/fund> は教育・研究・地域貢献活動、修学のための支援及び国際交流の推進等に資することを目的に、平成30年度に創立し、ご支援いただいた寄附を基金として積立て、本校の教育研究等の発展のために活用させていただくものです。下記の支援などに活用しています。

【 学 生 支 援 事 業 】 全学的な教育・研究・地域貢献、施設整備等
留学、教員の海外派遣等、国際交流事業等

同窓生の活躍

人と自然と街のベストな共生圏を探る

株式会社協同測量社 53期環境都市工学科 大出直斗

2024年4月に長野市の株式会社協同測量社に入社しました。当社は1950年の創業から70年以上、地域に根差して事業活動を行っております。事業内容は、土木設計・環境調査の建設コンサルタント、補償コンサルタント、測量業、地理情報システム開発、介護システム開発などで、お客様の多様なニーズに合った良質な社会インフラ整備のため、常に技術力の向上、顧客満足度の向上に取り組んでおり、信頼性のある高品質技術を提供しております。入社2年目で、今は主に猛禽類の生態把握や保全対策をする環境調査に携わっています。この仕事のおもしろさは、正解がない課題をみんなで突き詰めていくところです。例えば人間の暮らしを守る砂防ダム建設は、動物たちの生息地に干渉し、個体数を減少させる要因になりかねません。特に大規模な工事が行われる際、相互にベストなバランスを保てるよう気を配るのが私たちの役目です。スコープや双眼鏡、カメラなどを使ってワシやタカの観察をし、山を歩き回って営巣地を特定する。技術だけでは成立しない、探求しがいのある部署です。



昆虫採集に夢中だった幼少期から、私にとって自然は大好きで身近な存在です。中学卒業後は土木の仕事に興味をもって長野高専に進学。当社設計部署にインターンシップしたのがきっかけで、協同測量社が行う建設コンサルタントという仕事を知りました。その後は大学院で環境経済学を学びながら環境調査のアルバイトを経験し、改めて「自然とダイレクトに関わる仕事がしたい」と感じたのが就職の決め手でした。生活面で住宅手当や奨学金返還支援制度など、福利厚生が充実しているのも魅力でした。

今は1つ目の大きな目標である「技術士(建設部門 建設環境)」の資格取得を目指して勉強しています。自然環境のスペシャリストでありながら、社内外の人と対話を重ねて街をつくる仕事。長野県の未来を見据えたより良い提案ができるよう、視野を広く挑戦を続けていきたいです。



確かな技術、
豊かな発想で社会に貢献
優良なる社会基盤を次世代に贈る

測量・調査、建設コンサルタント、補償コンサルタント、空間情報・GIS開発、介護システム開発



総合コンサルタント
株式会社 協同測量社

本社 〒380-8577 長野市大字安茂里671番地
TEL: 026-226-5691 / FAX: 026-228-8858

技術職 社員募集中! 詳しくはホームページへ ➡ URL: <https://www.kyo-soku.co.jp/>



同窓生の活躍

コトヒラ製品を海外へ

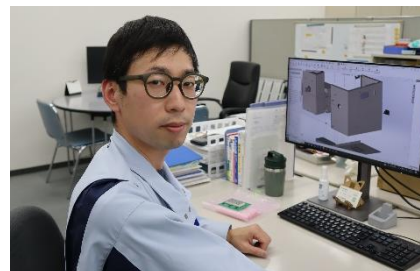
コトヒラ工業株式会社

当社は、半導体テスターなどの産業機械の受託設計・製造、業界トップクラスの生産量を誇るユニットバスパネルの OEM 生産、自社ブランド製品として AI 画像処理技術を活用した毛髪検知システムや集塵機等の環境衛生機器の企画開発～販売など多角的に事業を展開している企業です。

●40 期（2007 年）電子制御工学科卒、42 期（2009 年）専攻科

生産環境システム専攻 修了 開発部開発課 宮脇広志さん

もともと、県内メーカーで製品の開発・設計業務に携わりたいと考えていました。専攻科の授業の一環でコトヒラのインターンに参加し自身のアイデアを取り入れた新製品の開発をしたいと思い、入社しました。自社ブランド製品を企画～販売まで実施しており、様々な経験が出来る点も入社を決め手でした。



開発部開発課 宮脇広志さん

入社以来、開発課に所属し、営業部門と連携して新製品の企画提案、技術・製品開発を担当しています。市場調査や特許分析を行い技術的な観点から意見を出して企画を練る業務に加え、部品選定から始まり機能評価～流体解析～電気・板金筐体設計～試作機検証まで行う開発業務など、幅広い業務に携わっています。高専で学んだ知識を活かしながら業務を進める中で、今後は長野高専と共同研究も開始する予定です。

仕事をするうえで、「最初から否定しない」という意識を大切にしています。製品を展示会に出展すると来場者の声を直接聞く機会があります。当然厳しい指摘もありますが、既存顧客から褒めてもらった時は役に立っていると実感でき、大きなやりがいを感じます。これまで国内販売が中心でしたが、展示会で担当製品の海外輸出について某代理店様から強い要望を受け、製品の海外展開を推進することになりました。海外規格や表示、言語、環境調査などの知見がない中で、代理店様と密に調整を重ね、リニューアル開発が無事に完了。海外展開の基盤を築くことが出来ました。これをきっかけに、他の製品の海外展開も予定しています。コトヒラ工業は、福利厚生が充実しており、クラブ活動など他部署との交流も盛んで働きやすい環境です。今後は設計としての専門性を磨くとともに、ゼネラリストとしての視点も持ちながら、より品質の高い製品の開発を目指していきたいです。最後に、卒業してから 16 年、あっという間でした。久しく連絡をとれていない同級生も多いですが、皆さんお元気でしょうか。なかなか近況報告もできていませんが、気軽にご連絡いただければ嬉しいです。

試作機の安全性評価試験





夢をカタチに。

技術者 積極採用中！

- 商品開発
- 設計・生産技術
- システムエンジニア

卓越した技術力と豊富な設備で
設計・開発から製造・生産までを社内一貫生産を実現しています。

コトヒラ工業株式会社 〒389-0512 長野県東御市滋野乙1320
☎0268-63-0001 ✉recruit@kotohira.co.jp

HPはこちら▶





80th
ANNIVERSARY

同窓生の活躍

「1 秒に 1 個のものづくり」を支える

シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 29 期機械工学科 土屋宏之

私は、長野高専機械工学科(電子コース)を 1996 年に卒業し、この会社に 29 年勤務しております。入社後は製品を製造する装置の新規導入や既存装置を改善する合理化部門に 6 年、親会社であるシチズン時計に出向し製品のシステム開発部門に 10 年、長野に戻り新製品の導入や既存製品の品質問題を対応する生産技術部門に 4 年、そして現在は合理化部門に戻り 9 年が経ちました。



弊社は主に腕時計の製造を行っており、北海道から鹿児島まで計 17 の工場で腕時計の部品から完成品までを製造する世界でも数少ない“マニュファクチュール”の 1 つです。私の勤務するミヨタ佐久工場では時計用回路の実装、時計用モーターコイルの製造、腕時計の駆動部であるムーブメントの組み立て、腕時計の完成品組み立てを行っております。そのほとんどの作業は自動化がされており、約 1 秒に 1 個のペースで作られるムーブメントの自動組み立てラインが 15 本、休日以外はほぼ 24 時間動き続けています（皆さんも是非見学にお越し下さい）。



現在所属している 技術革新部 MIYOTA 革新課 改善推進係では、自動組み立てラインの更なる改善や新たな合理化を検討、提案、設計、製作、導入しています。高専で学んだ物理、材料力学は今でも用いていますし、設計製図はほぼ毎日おこなっています（当時はドラフターで手書き、2DCAD&3DCAD は会社で学びました）。

一昨年、インターンシップで長野高専生が 2 名来られました。私にとって 6 年振り 2 度目の高専生受け入れでしたが、とても賢く対応力と創造力のある 2 人でした。また、2 人共進学希望との事でしたが大学卒業後の事も話をしました。就職においては収入に目が行きがちですが、総労働時間（年 1000 万円貰えても時間外労働月 100 時間超なら体壊します）、福利厚生（土日祝日休みか？盆正月 GW に休み取れるか？将来増える家族との生活等を想定して下さい）、地元就職（給料安くても生活費も安い、子育てなら間違い無く東京より長野）等も、これから就職をする方は是非考慮していただくと良いと思います。

現在は超売手市場と言われており在校生の皆さんには非常にチャンスですが、だからこそ悔いの無い選択をして欲しいと思います。がんばれ！

シチズン時計マニュファクチャリング株式会社

ミヨタ佐久工場

事業内容：各種時計類及びその部分品の製造

お問合せ：cwmj-miyota-saiyou@citizen.co.jp

採用関係HPはこちら



『ものづくり』に興味がある方は、ぜひご連絡ください！

技術者 募集中！



同窓生の活躍

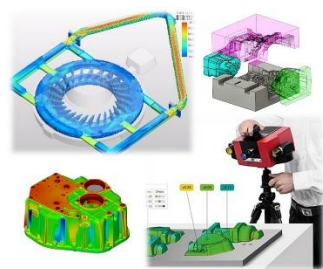
古の技術と先進技術のコラボレーションを

株式会社コヤマ 35期機械工学科 宮川任臣

●コヤマとは 長野市川中島に本社を構える鋳物メーカーで、鋳鉄・アルミの鋳造品を主軸に、鋳造品の機械加工、自社開発のバリ取り装置も製造販売する鋳物関連の総合メーカーです。高難易度な油圧バルブ製品の鋳造や、機械加工まで行う素加一貫製造は国内でも稀であり、全国の自動車メーカーや建設機械、油圧機器メーカーよりご愛顧を頂いております。自社開発品であるバリンダーは鋳物専用の重研削装置で、鋳物メーカーならではのノウハウを織り込むことで世界各国の同業社にご好評を頂いております。



●コヤマの特徴 鋳造とは金属成形加工方法の一種ですが、液相～固相の相変態を伴う唯一無二の金属加工方法です。起源は紀元前と言われ歴史は長いですが、その相変態からして謎が多い工法のため、鋳造が工業として近代化されても、鋳造品の品質は“経験と勘”に左右されることが多く、現在も鋳造に関わる様々な研究が進められています。



弊社はその不確かな部分を具現化するべく、業界内でも先立って 3D-CAD、3D プリンタ、3D スキャナといった 3D ソリューション類をはじめ、鋳造シミュレーション(CAE)を導入し、技術の見える化を図っています。近年は工場各所に IoT 機器や産業用ロボットの配置、画像認識による自動搬送や自動検査、不具合検知にAI採用するなど、DXに向けて先進技術の取入れを加速しています。

また全社的な省エネ活動をはじめ、植物由来の固形燃料(バイオブリケット)の社内製造と鋳鉄溶解への使用、溶解炉の排熱利用、切削切粉の再利用など、いち早く環境対策にも取り組み、同業社からも一目置かれております。



●最後に 鋳造、機械加工、機械設計といった業種は、機械工学科由来の材料、熱、流体、構造などの力学知識をフル活用しますが、前述の DX、環境対策といった部分には制御、情報処理、化学、建築設計、そもそもの事業性など、あらゆる分野の幅広い知識や技能が必要です。弊社においても専門科系を問わず活躍の場が広がっておりますので、高専生及び同窓生には一層の活躍が期待されており、筆者もその一角を担えるよう引続き努めて参ります。

弊社製品はもちろん、鋳造という古の技術と先進技術のコラボレーションを是非ご覧頂きたく、お気軽にお問合せ頂けましたら幸いです。

技術と真心で明日をひらく



本社・川中島工場
長野市川中島町原1111

須坂工場
須坂市大字日滝字虫送3500-1

工場見学大歓迎

連絡先:採用担当
soumu@koyama-nagano.co.jp
026-292-2700(代)

同窓生の活躍

タイのミネベアミツミで働く三水

ミネベアミツミ株式会社 44期機械工学科卒 三水 陽介

今回は、海外で働く人ということを書かせていただくことになりました。2011年に長野高専を卒業して、現在のミネベアミツミに入社いたしました。最初の3年間は日本で業務を覚えて、2014年から現在までタイ工場で働いています。途中で1年間のカンボジア駐在を経て、2024年10月にタイに戻ってきて一つの工場の責任者になっています。入社して最初の3年で必要最低限を覚えてそのまま海外に駐在というと、1,2年生で基礎学習をして3年生から専門科目を学び始める昔の高専に似たところがあります。当社はタイに200人近い駐在員を置いているので、上司、先輩、後輩に助けてもらいながら生活しています。



職場での様子

日本とは違う文化をもったタイ人の同僚たちとあーでもないこーでもない毎日タイ語で仕事ができるようになったのは良い経験をさせてもらっている賜物だと感じています。機械加工をメインとした現場では「高専で学んだ内容だ!」という感動もありますし、製品を組み立てる現場では、「なんじゃこりゃ!」という感動もある楽しい職場です。私より2つ年上の工場に働いているのですが、30年以上も続く工場でも常に改善できる内容があったり、現場で驚くような不具合が発生したりといつも新鮮でヒヤヒヤしています。そ

んな時は同僚と解決策を考え、やってみて、結果を見て、次につなげる、というモノづくりの基礎を高専で学んだことが、今の仕事の基礎を築いています。

ここからが本題ですが、東南アジアでの生活は楽しいです。日本にいるよりもすこしだけ危険に注意を払う必要がありますが、比較的自由に生活を送ることができます。特に、1年を通して寒い時期がないので、ゴルフが活発です。タイに赴任をしてからゴルフを始めましたが、今や毎週末のゴルフへの待ち遠しさを原動力に仕事をするほどになりました。プライベートもしっかりあり、趣味を楽しむことができます。

タイにいらっしゃることがありましたらお声がけください!



社内ゴルフコンペで
右に女子プロいます



超精密技術が、
未来をおもしろくする。

つくっているのは、
部品じゃなくて未来です。

MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference

ミネベアミツミ
<https://www.minebeamitsumi.com/>

ミネベアミツミについて
もっと知ろう!



《お問い合わせ先》
ミネベアミツミ 軽井沢工場
〒389-0293

北佐久郡御代田町大字御代田4106-73
TEL:0267-32-2200 FAX:0267-31-1350

同窓生の活躍

おもいやりの技術で感動を

株式会社サイベックコーポレーション 35期電気工学科 米倉健一

【 弊社の紹介 】

弊社は昭和 48 年（1973 年）に設立された、精密金型の設計・開発やプレス部品製造を行っている塩尻市の企業です。鍛造と板金成形を組み合わせた独自の超精密冷間鍛造順送プレス工法（CFP 工法）による工法転換にて、主に自動車業界の発展に貢献してまいりました。近年では、自動車部品のみならず、医療系部品や環境関連機器の主要部品など、多種にわたるプレス加工を行っています。社名の「SYVEC」は、「Shin Yu Value Engineering for Customer」の頭文字を取ったもので、「信じる 友と支え合いながら 価値ある技術をお客様に提供する」という想いが込められています。一昨年は創立 50 周年を迎え、これまで支えていただいた皆様（「友」）への感謝を胸に、この基本理念のもと次の 50 年に向けて社員全員で力を合わせ邁進しております！

【 私の役割 】

私は中途採用で入社して、生産技術業務全般を担当してきました。生産技術とは、無駄な生産コストを排除し、利益を創出するための技術です。各担当者には、非常に幅広く深い領域の知識と技能が求められます。難しいテーマばかりですが皆で知恵を出し、学び合いながら、社内の様々な生産工程の自動化・省力化を推進しています。これまでも現場人員の負荷軽減と製品製造の高付加価値化に取り組んできましたが、今後はそういった実績をベースに、生産現場の「質」をより高めて、自分たちの追求する新しいものづくり（理想）を実現できるよう挑戦していきたいと思っています。

【 モノ（コト）づくりへの想い 】

先行きの見えない世の中ではありますが、こんな時だからこそ、私は色々な人と関わり助け合い、「今」に集中することを心掛けています。これから訪れる未来はおそらくこれまでの延長線上には無いのでしょうか。しかし、どんなに世の中が変わっても、私たち技術者はお客様や社会に様々な価値を提供していく（応えていく）ことに変わりはありません。他の誰でもない「あなた」の想いに寄り添い、己の魂を込めて全力で「応える」。その根っこの部分だけは変わらず、これからも大切にしていきたいと思っています。

【 高専への感謝 】

先生方の手厚い恩情（？）で無事に課程を終え、なんとか（？）卒業してから早いもので 24 年が経ちました。何度かの転職を経て、様々な企業で非常に多くの経験と感性をいただきました。ありがたいことに沢山のご縁にも恵まれて、多くの方々のお力添えがあったからこそ、こんなに素敵な「今」があります。それもひとえに、学生時代に長野高専での学びを通じて培われた基礎力のおかげだと思います。あらためて感謝を申し上げます。長野高専と同窓生の皆様におかれましても、今後のさらなるご活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

ROAD TO YOUR DREAM WITH US!

採用情報公開中！
WWW.SYVEC.CO.JP/RECRUIT/



- 業務内容
- 採用職種
- 福利厚生 など

サイベックの
日常はこちらから！



リアルなサイベックは
こちらから！







株式会社 **サイベックコーポレーション**
長野県塩尻市広丘郷原南原1000-15 TEL: 0263-51-1800

同窓生の活躍

長野高専から世界へ

大成建設株式会社 38期環境都市工学科 高原郁恵

長野高専を卒業し早20年という月日が流れました。先日、毎日通った三才駅から学校までの河川敷の道を歩きながら、改めて長野高専での充実した日々を思い起こしておりました。

私は2005年3月に長野高専を卒業後、群馬大学建設工学科への編入学を経て大成建設株式会社へ入社いたしました。土木技術者として国内外の土木工事に従事したのちに、調達本部、国土交通省への出向を経験し、現在は国際営業を担当しております。



高専在学中に行った1年間の語学留学がきっかけとなり「海外の現場で活躍したい」という思いが強かったことから、海外展開をしている建設会社への就職を希望しました。当時、海外展開をしている建設会社は大学院もしくは大学からの採用が大半だったことから、大学への編入学を経て就職活動をしました。今と違い、女性の施工技術者は企業規模問わず大変珍しい存在でしたので、当たり前ですが、女性技術者が海外で働くための採用枠は皆無。何社も受けてやっと1社ご縁をいただけたのが「海外勤務の可能性はゼロではない」と言ってくれた大成建設でした。

入社後はまず国内工事現場で様々な経験を積みました。朝8時の現場朝礼後、夕方まで現場事務所の席に座ることもなく現場を歩き回る日々でしたが、家族や上司に支えられて、大成建設の技術者として成長することができました。そして、6年間の国内施工経験の後に、大成建設の女性土木技術者として初めて海外工事に携わることができました。

赴任先であったトルコ・ボスポラス海峡横断鉄道工事での経験は、帰国後10年経った今でも忘れ難く、自分の糧となる貴重な経験となっています。日本との居住文化だけでなく、組織・仕事に対する考え方などが違う環境の中、あと1年と迫った開通式に向けてトルコ人、日本人関係なく知恵を出し合いプロジェクトを完成させることができました。

帰国後は、国内工事の価格交渉を行う調達本部に配属となり海外工事とは疎遠となりましたが、二人の息子の出産・育児を経て、中間管理職として仕事と育児との両立に充実した毎日を送っております。

その後、国土交通省の国際部門への出向の打診があり、国家公務員として2年半を霞が関で過ごしました。この出向では外国の政府機関の方々だけでなく、海外展開を目指す日本企業の皆さんと話す機会を多く持つことが出来、大変視野が広がりました。この出向を通して「やはり国際関係の仕事がした

い」との思いが再燃し、今年1月から大成建設の国際営業に配属され新しいスタートを切っており、またいつか海外工事に携わることを夢見て日々業務に励んでおります。

小さな息子たちがいる中で自分の海外への思いと、家族の生活を天秤にかけて悩むことは多々ありますが、新しい挑戦をさせてくれる会社とサポートを惜しまない家族には心から感謝しています。長野に住む両親・義両親は必要に応じて東京に来てくれたり、料理を送ってくれたり、長野を離れてもなお一番の理解者であり応援団でいてくれます。

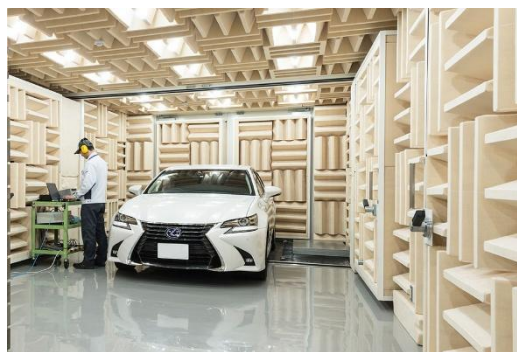
20年前の私が聞いたら、びっくりするような毎日が送れております。長野高専からも新しい挑戦に前向き、かつ社員の可能性を信じてくれる大成建設で働く仲間が増えてくれることを切に祈ります。

同窓生の活躍

自動車用警報機で世界へ

丸子警報器株式会社 総務部 倉澤千昭

いま私たちの暮らしに欠くことのできない自動車。その安全確保のために搭載されるホーンの開発製造に丸子警報器が取り組んだのは昭和24年のことでした。長いラッパ型のホーン形状をしていた当時の製品から、美しい渦巻型へ、コンパクトな平型へ。さらに先進のテクノロジーが注がれた超小型軽量ホーンへと進化を続けたホーンの歴史を、つねに先進的でタイムリーな製品開発でリードしてきたのが私たち丸子警報器です。まさにこの分野におけるパイオニアとして、以降のモータリゼーションの飛躍的な発展を見つめ続けています。



私たちの大きな特徴は、研究・開発・設計・生産という流れのすべてを自社で一貫して行っていることにあります。製品開発は、技術開発部を中心に、各部門の技術スタッフが参画してプロジェクトを結成して進めています。また外部の研究機関、メーカー等との共同研究も積極的に行われています。こうした中から私たちは、米独仏など海外でも数多くの特許を取得。「世界初」技術を生み出してきました。さらにこれからの時代が求める製品づくりに関しても、高性能、高品質、低コストを基本とした小型化、軽量化の最新テクノロジー分野の研究開発、更には、環境やリサイクルに配慮した人にやさしい製品開発を進めており、幅広い技術テーマに取り組んでいます。

MARUKO HORN

HORN Technology

限らない安全と、心に響く快適サウンドへの提案を込めて
ホーンテクノロジーに新たな進化を刻み続けます

丸子警報器株式会社
♥ 本社
長野県上田市上丸子1880
TEL: 0268-42-3118 FAX: 0268-42-3120

<http://www.maruko-horn.co.jp/>

100 年企業の町の小売店

有限会社天沼商店 36期機械工学科 天沼智広

私は、高専の機械工学科を卒業したのち、大学に編入学し、そこから、神奈川にあるオートバイのレースや、アフターパーツを製造しているメーカーに就職しました。

最初の2年間は、一般商品の開発の部署に所属し、その後レース部門へと転属しました。そこから、10年あまり、主に全日本ロードレース選手権と鈴鹿8時間耐久ロードレースのメカニックをしていました。

そこから、ちょうど色々なタイミングもあり、家業を継ぐべく長野にUターンしてきました。私の家業ですが、長野市にて時代は良くわかりませんが、最初は大八車の車輪に鉄の輪を嵌める車鍛冶屋、明治42年から自転車を取り扱い始め、昭和でバイクと、2輪にまつわる仕事をしています。そんなわけで、今では長野市の自転車屋ではほぼ一番古くからある街の自転車のお店になります。さて、自転車の業界で見ますと、車両的には、昔の自転車のねじ規格をそのままJISにしてしまったおかげで、一般のねじ規格に対しては特殊なのですが、変わらないことで昭和初期の自転車でも直そうと思えば、直せてしまう様な持続可能な乗り物です。また、環境、健康といった部分や、コロナ禍では密集密接を防ぐと度々注目されるようなこともありました。また、30年前に世界で初めてヤマハ発動機が電動アシスト自転車を発売してから、ここ数年では急速に様々なタイプの電動アシスト自転車の登場で、良くも悪くもニュースになったりしております。さらには、自動車業界が100年に1度の大変革期に差し掛かっているといわれておりますが、二輪車も排ガス規制で原動機付自転車の50ccがなくなる、電気バイクの登場など大きな時代の流れの真ただ中にあるといえます。そんな時代の流れもありますが、町の自転車屋さんの数はというと、年々減少傾向で特に1990年に自転車の関税撤廃で安価な自転車が専門店以外で多数販売できるようになり、その結果後継者がいなくなり、近年の自営業に見られるような状況となっております。

さて話は変わりますが、Uターンしてからも私はバイクレースの仕事をありがたいことに続けていたのですが、一体どんな仕事なのか聞かれることが多くあります。確かに、MOTOGPやワールドスーパーバイクなどの映像配信を見ても、ライダーが颯爽とバイクを乗りこなす姿は出ますが、中々裏方の仕事はなかなか表に



出ません。ざっくりと、そんな仕事についても紹介したいと思います。

スプリントレースにおいて、チームの編成は、監督、ライダー、メカニックといった形になっています。メカニックの中に、チーフメカニック、メカニック（整備、タイヤ管理、ガソリン管理等）が4～5人程度います。またその他に、電子制御担当で1名、ワークスといわれるチームでは、制御担当が細かな分担を行っている為複数名いて、1台レースに出るだけでも、1ライダーにつき最低でも5人以上のチームとなっています。



私の仕事はチーフメカニックなのですが、ライダーからの走行での不満や改善要求に対して、データロガーでの解析や経験則からバイクのセッティングを変更する指示をメカニックに指示したり、タイヤの選定（構造、コンパウンド）などを行っております。データロガーも、今ではかなり多くの情報を集積し、また、並行してECU上で計算して制御を行っております。特に、電子制御が急速に発達してきており、センサーの数も競技車両とはいえたくさん車両

についており、エンジンで動いてはいますが、電気バイクであると言えるような状況になっております。また、ここ最近なぜ日本のメーカーではなくヨーロッパのメーカーが速いのかというのも、昨年からDucatiでレースをするようになり、その理由が体感でき、やはり電子制御の部分が大きいと感じました。一方では、イタリア相手なので、物流という部分では日本人の真面目さに勝るものはないとも思いましたが。。。まだまだ、いろいろと書きたいところではありますが中々文章にすると伝えにくい内容が多いので、この辺にしておきたいと思います。

最後になりますが、私が高専で学んだ、どんなことでもチャレンジし、少しでもいいから常に前に進み続ける、これからも、その精神を忘れずに地域の皆様に愛されるお店、ここにこのお店があってよかったと思っていただけるようなお店を目指していきたいと思います。また、何かバイクや自転車等で機会がありましたら是非お越しください。ほっとリラックスできるコーヒーをご用意お待ちしております。



明治42年創業
サイクルセンターあまぬま
自転車 バイク 販売・修理・カスタム・設計製造
企業様向けの車両導入、点検整備もお任せください！！
YOSHIMURA 電動アシスト自転車の試乗車各種多数あり
信越地区唯一のテクニカルショップ



DUCATI TEAM KAGAYAMA
全日本ロードレース選手権参戦中

有限会社天沼商店 〒381-0043 長野県長野市吉田1-11-11
TEL : 026-241-5883 URL : <https://www.cycle-ama.com> e-mail : amanuma1909@gmail.com

学生の活動

2024 年発足 アウトドア同好会

指導教員 井浦 徹（体育・アウトドア担当）



2022 年度から「ウェルネス・アウトドア」という1年生の授業が始まりました。そこでは、アウトドアアクティビティを通して、人間関係づくりや課題解決について体験学習をしています。第2体育館にボルダリングウォールが設置され、授業や放課後に取り組む学生が多くいます。そこで、地域子どもたちを集めて高専生と交流する「ボルダリング教室」を開催しました。子どもや保護者からも好評でしたが、高専生の関わる力に感激しました。この活動に参加した学生を中心に「アウトドア同好会」が発足しました。キャンプ、登山、ボルダリング、スキー、スノーボードなどのアウトドアスキルを身につけるだけでなく、企画集客運営をする経験を通して、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」という3つの能力から成り立つ「社会人基礎力」を高め、安全に楽しむコミュニティづくりをめざして活動していきます。アウトドア好きのOBOGの方ともつながりたいと思います。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学生の活動

ダンス部をよろしく！

情報エレクトロニクス系 大矢 健一

ダンス部は同好会から昇格し、部員25名程度が週に3回ほど真剣に練習し、常にレベルアップを心がけています。K-POPのカバーを中心に練習しており、レベルが非常に高いです。練習に必須となるのが大きな鏡で、今回援助していただいたお金と部費とを合わせて、新たに1枚購入することができ、大変感謝しております。あと2枚鏡があると大変ありがたいので、また機会がありましたらよろしくお願いいたします。ダンス部が披露する場合は、工嶺祭と外部のイベントになります。工嶺祭では夜祭の他、昼ステージでも披露するので（写真）、ぜひお越しください。外部イベントは、6月に上田のダンススクールで開催されるイベントと12月にTOiGOで開催される長野



県の学生が参加するイベントとがあります。どちらも参加者のレベルが非常に高く、見応えがあります。さて、私自身も2年半前からK-POPの魅力にはまり、その影響で指導教員を引き受けることになりました。NiziU、TWICE、NMIXXなどを聴き、それぞれライブも行っており、NiziUは台湾まで、TWICEは韓国まで行ったこともあります。また、TWICEのダンスは（還暦を過ぎているにもかかわらず笑）私自身も練習しており、工嶺祭の夜祭では、学生といっしょに踊っている動画が流れました。私もまた、日々、練習あるのみです！笑

学生の活動

エコノパワー部 全国大会で2部門優勝

長野高専 工学科機械ロボティクス系 21期機械工学科 岡田学

長野高専エコノパワー部は2024年10月12日（土）、10月13日（日）に開催された「本田宗一郎杯 Honda エコ マイレージ チャレンジ 2024 第43回全国大会」へ参加し、グループIII（大学・短大・高専・専門学校部門）と二輪車クラスの2部門で優勝しました。グループIIIで燃費1753.044lm/lで優勝した「長野高専 Reginetta」チームは2019年に続いて5年ぶり二度目の優勝です。二輪車クラスでの本校の優勝は初めてですが、同クラスには年齢によるクラス分けが無いので、優勝するためには社会人チーム等を上回る必要がありました。また、今回から新設されたCN（カーボンニュートラル燃料）グループIII（大学・短大・高専・専門学校部門）では「長野高専 Cygnus」チームが燃費1097.299km/lで2位へ入賞しました。



学生の活動

コンクリートカヌー作製プロジェクトの活動紹介

都市デザイン系 准教授 大原涼平

環境都市工学 大原研5年生（4名）が主体となり、土木学会関東支部（長野は中部支部）が主催する「第30回土木系学生によるコンクリートカヌー大会」に参加いたしました。卒業研究や放課後などの空き時間を使って、4～5月にカヌーの形状設計、6月に配合・打設の決定と型枠製作、7月に打設・養生・塗装、8月上旬に大会出場という4か月間のプロジェクトです。コンクリートは引張強度が小さいためカヌー外殻が割れないための適切な補強、左右対称かつ安定性を考慮した形状、軽く丈夫にするなどの課題があり、様々な工夫や失敗を重ねつつ、ものづくりを経験することが目的です。

今回のカヌーは約120kgの巨体+漕ぎ手2名を東京湾の会場に浮かべるまででしたが、安定性が悪く出走できませんでした。しかし、セメントの使用量（約80kg!）で業界に貢献したということで「セメント新聞社：セメント貢献賞」を受賞することができました。今後も学生のものづくり活動のご支援をよろしくお願いいたします。



集合写真



参加時の様子

学生の活動

航空・ロボット製作部

長野高専 航空・ロボット製作部顧問 宮下大輔

航空・ロボット製作部の3年生2チームが、ロボカップジュニアジャパンオープン信越ブロック大会に出場しました。結果は monolith が3位、Undecided も同率3位となり、推薦枠で全国大会への進出が決定しました！チームメンバーは競技を通じて、ロボットの制御技術や戦略の重要性を改めて実感し、今後に向けてさらなる改良を進めています。ロボカップジュニアは、19歳以下の若者を対象とした自律型ロボットの競技大会です。サッカー、レスキュー、オンステージなどのカテゴリーがあり、ロボット工学やプログラミングの技術を競います。全国大会で優秀な成績を収めたチームには、世界大会への出場権が与えられます。2025年の世界大会は、7月にブラジル・サルバドルで開催予定です。本記事が公開される頃には、全国大会の結果が判明していると思います。もし世界大会への出場が決まれば、長野高専の代表として全力を尽くしたいと思います！その際は皆さんの応援をよろしくお願いいたします！



学生の活動

答えは一つじゃない。社会実装型教育の授業の実施

機械ロボティクス系 小林裕介

4年機械工学科では「創造工学実習」という授業を行ってきました。この授業は、1年間をかけてテーマに沿った製品開発を行う授業ですが、ただ装置を完成させればいい、というわけではなくコスト管理や知的財産教育、安全管理、デザインレビューなど、実際の会社でのものづくりを想定した授業構成となっています。また授業形態として、これまでPBL型授業、社会実装型教育として、ペットボトルの自動分別機やドッジビーの発射装置など、さまざまなものづくりを行ってきました。

令和6年度は特別支援学校からの要望を元に「楽器自動演奏装置」の開発を行ってきました。共生社会を実現するため、多種多様なニーズに対応できるような技術やノウハウ修得を目指しました。

学生たちの選定した楽器はエレキギター、キーボード、電子ピアノ、ハンドベル、オタマトーンとバリエーションに富み、最後のお披露目会では、練習では上手くいっていたのに本番では動かなくなったチームもあれば、複数の楽曲を披露するチームもあったりと、一喜一憂の盛り上がりもありました。もちろん完成度が高いことが大切ですが、失敗したり、うまくいかなかった事に対してどうしてか？どうすれば良かったか？などの「気付き」を得てもらうことこそが、大切なポイントと考えています。完成した作品は工嶺祭をはじめ、いろいろなイベントを通して公開を予定しています。学生たちの作品をぜひ楽しんで頂ければ幸いです。最後になりましたが、授業に多大なるご支援を賜りました長野高専同窓会にはこの場をお借りして感謝申し上げます。



ハンドベル演奏装置



オタマトーン演奏装置

2024 年度末で退職された先生方からひとこと

山に囲まれた生活を過ごして

このたび、石川高専へ異動することとなりました。長野高専で採用されてから気づけば 19 年目と、思いのほか年月が経っており自分でも改めて驚いております。

思い返して浮かぶのは、やはり学生とのいろいろな思い出が思い出されます。初めて担任をした 3 年生の企業・現場見学では、11 月にもかかわらず（しかも雨の中）多くの学生が海水浴を行っていました。寒い寒いと震えながらも楽しそうに泳いでいた皆さんの様子とても微笑ましかったです。ロボコンでは地区大会優勝などもありましたが、東京モーターショーの併設イベントにお呼ばれするなど、あまり体験できないようなイベントにも参加できました。卓球部では、高専大会の空いた時間にみんなで水族館に行ったり、10 円のおまんじゅうを分け合ったりと、楽しい時間を一緒に過ごさせてもらいました。

何よりも、多くの学生の皆さんが卒業後も連絡をくれたり、遊びにきてくれたりと高専での縁を繋げ続けてくれていることがとても感慨深いです。少し離れた所に移りますが、これまで培ってきたご縁はこれかれもつないでいきたいと思います。19 年間、ありがとうございました。

機械ロボティクス系 小林裕介



若者に夢を語らせたいなら、まず自分が語れ

娘が小学 1 年生のある朝、朝食の席で、「お父さんの夢はなあに？」と聞かれました。きっと小学校で「夢」についての課題が出されたのでしょう。いまどきの若者は、ことあるごとに「あなたの夢は何?」、「夢に向かって頑張れ」などといわれ大変だなあ、とぼんやりした頭で考えながら、「はて俺の夢ってなんだっけ?」と答えに窮してしまいました。四十目前になって本来秘めるべき夢を語ることにためらいがあったわけではなく、かつての「夢」が、いつの間にか「目標」へと変わっていたからでした。「目標」は早晚達成されるものです。「では、目標を達成した先の人生に、何があるのか?」と漠然とした恐れを感じました。

それから、いい年をしたアラフォーが、今さらながら「夢」を探し始めました。大学に人事交流で在籍してみたり、日本中に散らばっている友人に相談してみたりと、けしてスマートとは言えない方法を模索しつつも、少しずつ夢の輪郭が見えてきました。ここで披露するほど格好のいいものではないのですが、その夢は、言ってみれば「後輩の糧になること」です。四十半ばを過ぎて、気づけば周りに後輩が増え、娘と息子がおり、指導した学生たちがそれぞれの分野で活躍し、なかには博士号を取得し教員や研究者として活躍するものも出てきていました。彼らの成長を見守り、ときに伴走し、私の持つ資源を活用してもらえたら、それは幸福なことだろうと考えています。

そういった想いのもと、15 年務めた本校を退職し、4 月から故郷の大学で働き始めます。そこでも学生を育てながら、活用してもらえる資源を増やそうと思います。いろんな分野で活躍している後輩たちを支援したり、つなげたり、ときには伴走したり、そんな仕事ができたらと思います。そんな優秀な後輩たちと出会わせてくれた長野高専を、育み支えてこられた同窓会と教職員の皆様には敬意を表するとともに、お世話になりましたことを感謝申し上げます。いくつかの仕事を経験したのち、本校で教員という仕事のスタートを切れたことは、非常に幸運なことであったと実感しております。ご指導いただきました諸先輩方には心より感謝申し上げます。

教え子が自分を超えていくのを見ることは、教員冥利につきるものです。長野高専で出会った多くの後輩たちが、世界に羽ばたき活躍することを心から応援しています。そして、ぜひ時々、その活躍を聞かせに来てください。私も日本のどこかで、後輩たちに負けないように、新しいことに挑戦し、きっと次の夢を探しているように思います。ちなみにこの文章を生成 AI に書いてもらっているのも、新しい挑戦の一つといえるかもしれません。最後になりましたが、みなさまのご多幸とご健勝、そして長野高専と同窓会のさらなる発展をお祈りし、筆をおきます。長い間ありがとうございました。

機械ロボティクス系 柳澤 憲史



退職にあたって

令和3年9月に着任し、この度転職のため退職いたします。3年7か月ほどの短い期間でしたが、授業や担任、部活動、地域共同テクノセンターや高速信号伝送評価センターの業務などに携わらせていただき、高専の良いところを沢山感じ取ることができました。また、その過程で学内の先生方、職員の皆様、学生さんたちのみならず、長野高専同窓会や長野高専技術振興会、後援会の方々に本当に暖かく支えていただきました。

転職後は少し遠方からですが、長野高専、そして高専という教育システム全体の益々のご発展を祈念いたします。本当にありがとうございました。

機械ロボティクス系 門脇 廉



4年間ありがとうございました

倫理学担当の嶋崎です。この度、広島私立大学に異動するため、長野高専を去ることになりました。長野高専には、2021年4月に着任し、4年間お世話になりました。3年の「現代社会」と4年の「倫理学」を中心に、多くの学生とかかわることができました。大きな声で、汚い板書で、広島弁をまくした授業…存在感だけはあったかもしれません。今後は、私のことは忘れ去って結構ですが、時に、倫理について考えることのできる、皆様そんな「哲学者」であってください。授業を一番楽しんでいただいていたのは私だったように思います。実は毎回の授業の刺激に満ちたコメントを読むのが日々の楽しみになっていたのはここだけの話です。長野高専大好きでした。ありがとう。

リベラルアーツ教育院 嶋崎太一



お世話になりました

今年の3月で定年退職いたしました。昭和62年4月に長野高専に採用され、それ以来38年間勤めたことになります。採用当時、機械工学科の電子コースの実験を担当することから始まり、機械工学科に6年間、電子制御工学科に29年間、工学科機械ロボティクス系に3年間所属しました。皆様とは、授業や実験などで接してきたと思います。分かりやすさに配慮したつもりですが、分かりやすく説明するのは難しく、今もそう感じています。クラス担任も何回かやりました。様々なことがあった38年間、良い事も大変な事もあり、色々な経験ができました。誠にありがとうございました。今後は、再雇用でお世話になります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

機械ロボティクス系（電子制御工学科） 中島隆行



海洋技術建設 株式会社



東京湾を中心とした
【地域密着型】で海洋
土木を主とした建設会
社です。



令和 5 年度決算ならびに令和 6 年度予算のご報告

会計担当 北條 晴義（38 期 機械工学科）

令和 6 年 6 月 29 日に開催されました総会にて監査報告され、承認されましたのでご報告いたします。

■一般会計

収入の部

科 目	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	増 減	令和6年度 予算額
前年度繰越金	4,718,700	4,718,700	0	3,973,106
会費（ゴールド会費含む）	2,170,000	2,087,470	-82,530	2,170,000
広告収入他	110,000	195,043	85,043	110,000
合計	6,998,700	7,001,213	2,513	6,253,106

支出の部

科 目	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	増 減	令和6年度 予算額
事務諸経費（会議費含む）	1,010,000	808,027	-201,973	960,000
クラス幹事活動費	200,000	40,660	-159,340	200,000
慶弔費	50,000	52,440	2,440	50,000
同窓会行事経費	2,400,000	2,126,980	-273,020	900,000
予備費	3,338,700	0	-3,338,700	4,143,106
合計	6,998,700	3,028,107	-3,970,593	6,253,106

■同窓会基金

収入の部	支出の部	差引残高
8,081,011	0	8,081,011

同窓会総会にて特別講演会を開催します

2025年5月31日(土)に開催予定の同窓会総会では、音楽家 横山 克 氏(36期電子情報工学科)の特別講演会を開催いたします。この特別講演会は同窓会会員に限らず、どなたも聴講していただけますので、ご家族やご友人などとお誘い合わせのうえぜひ母校にお越しください。聴講をご希望の方は5月21日(水)までに、専用フォームよりお申込みをお願いいたします。なお、聴講希望者多数の場合には申込みの受付を早期に締め切らせていただく場合がありますことを予めご了承ください。

特別講演会の申込みフォーム(総会参加申込みフォームと共通)および総会の情報は本ページ末尾をご覧ください。

横山 克(よこやま まさる)氏

アニメやドラマ、映画などの映像作品の音楽を担当するほか、ももいろクローバーZをはじめとしたアイドルへの楽曲提供も手がける。世界各地でのレコーディングや、自ら制作するサンプリング素材でのサウンド構築などをライフワークとし、管弦楽とエレクトロの世界を行き来しながら常に固有の音楽を探し求めている。代表作に映画「ちはやふる」「22年目の告白 -私が殺人犯です-」、TBS系ドラマ「Nのために」「最愛」、NHK連続テレビ小説「わろてんか」、アニメ「四月は君の嘘」「機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ」、ももいろクローバーZやヒプノシスマイクへの楽曲提供。



2025年度 長野高専同窓会総会のご案内

2025年度の総会を下記のとおり開催します。今年度は特別講演会や寮食堂試食会なども企画しています。ぜひご参加ください。参加ご希望の方は、5月21日(水)までに下記のURLまたはQRコードからフォームにアクセスしお申込みください。



参加申込みフォーム(兼 名簿情報変更フォーム) URL: <https://forms.gle/iukAe8ULAPeg8c6s8>

開催日: 2025年5月31日(土)

プログラム: 12:00～: 寮食堂試食会: 先着20名様で寮食堂の昼食をお召し上がりいただけます。

ご希望の方は、寮食堂入口にお集まりください。

13:00～: 校内見学ツアー: ご希望の方に校内をご案内いたします。

14:00～: 総会

B棟(旧電子情報工学科棟)2階B203ゼミ室

15:00～: 横山 克 氏 特別講演会

B棟(旧電子情報工学科棟)5階B501大講義室

恩師ご招待: 今年度の総会には、小澤 志朗 先生(英語科)がお越しくださる予定です。

同窓会からのお知らせ

○ ゴールド会員を募集しています

50 歳以上の会員の皆様（1～29 期）には、本会をさらに強力に支援していただきたく、ゴールド会員（終年会費：20,000 円）としてのご登録をお願いいたします。登録していただいた方には、小山田いく氏（田上勝久氏（10M））デザインのゴールド会員証をお送りいたします。また、同窓会主催行事でのゴールド会員特典をご用意しております。

・ゴールド会員制度設立の趣旨：同窓会の運営は主に入学当時に保護者の方が負担してくださった入会金で賄われてきました。卒業後 30 年を経た 50 歳以上の皆様には、ぜひご自身でも会費を納めていただき同窓会活動に対するよりいっそうのご支援をいただきたくゴールド会員制度を設けました。ゴールド会員の（終身）会費は 20,000 円となります。この機会にぜひ登録いただき、高い視点から母校の発展、同窓生同士の活発な交流ならびに同窓会へのご支援をお願いいたします。

・ゴールド会員登録申込み方法：同窓会事務局（info@nnct-doso.net）までご連絡ください。会費の振込先などをご案内いたします。

○ 所属の変更、転居などがありましたらお知らせください

所属や連絡先の変更がある方は、ぜひ同窓会事務局（info@nnct-doso.net）までお知らせくださいますようお願いいたします。会員情報（卒業期・氏名・住所・電話番号・勤務先・勤務先電話番号・E-mail）につきましては、同窓会だより発行のご案内、総会など同窓会行事のご案内、長野高専が実施する事業（アンケート調査など）、同窓会員名簿の作成に利用させていただきます。同窓会員名簿に個人情報の掲載を希望されない方、同窓会だより発行のご案内の送付を希望されない方も、同窓会事務局までご連絡下さい。ご連絡のない方につきましては、会員情報の上記目的への利用に同意されたものとさせていただきます。

○同窓会(クラス会)開催の際はご一報ください

同窓会（クラス会）や、部活や同好会などの課外活動団体の OG・OB 会などを開催する（した）場合には同窓会事務局までご一報いただくとともに、同窓会だよりに会の様子を記事としてご投稿ください。原稿をお寄せいただきますと、活動費 1 万円と原稿料 1 万円を支給いたします。

○同窓会だよりへの広告を募集しています

同窓会だよりへの広告を協賛金 10,000 円にて承っています。本年度もたくさんのご協賛をいただきました。御礼を申し上げます。来年度の同窓会だより（2026 年春発行予定）への広告掲載をご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。

○同窓会だよりの記事を募集しています

会員の皆さんへ発信する情報（記事）を募集しております。同窓会事務局まで情報をお寄せください。

○同窓会だより読者プレゼント

同窓会だよりをご愛読いただき誠にありがとうございます。同窓会だよりをお読みいただいたご感想やご意見を、ぜひ下記のフォームよりお寄せください。感想・意見をお寄せいただいた方の中から抽選で下記の商品をプレゼントいたします。商品は本企画に賛同していただいた皆様のご厚意により提供していただきました。御礼を申し上げます。

・応募方法など：下記の URL または QR コードより専用フォームにアクセスしご応募ください。締切は 5/28(水)です。お早めにご応募ください。抽選は 5/31(土)の同窓会総会にて行い、当選者を発表します。

商品は、当選された方に協賛事業者様から直接お届けする場合があります。商品の発送にあたり、当選者の個人情報（お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス）を協賛事業者に提供することがあります。なお、お預かりした個人情報は、商品の発送に関する目的以外に使用することはありません。

読者プレゼント応募フォーム URL：<https://forms.gle/cnU5dhWKfMcgn5zE9>



・プレゼントのご紹介 は次ページ

読者プレゼントの紹介 申込フォームは前ページにあります

A) 有限会社天沼商店（サイクルセンターあまぬま）オリジナルコーヒー”リラックスタイム”

ほっと一息、リラックスタイムを5名様に。ドリップバック4個セットか豆100gをお選びいただけます。

ご提供：有限会社天沼商店（サイクルセンターあまぬま）、

URL：<https://www.cycle-ama.com/>



B) 松本ブルワリークラフトビール

松本市で醸すクラフトビール3本セット（内容はおまかせいただきます）を5名様に。

ご提供：株式会社松本ブルワリー

URL：<https://matsu-brew.com/>



C) 欧州支部設置記念！オランダお土産セット

オランダ伝統の木靴の置物と世界中で愛されるオランダ生まれのキャラクターのランチボックス（18 cm×12 cm）をセットにして2名様に。※発送は欧州支部員帰国時に行います。

ご提供：長野高専同窓会欧州支部



同窓会事務局 担当：36期機械工学科 山岸郷志

電話：026(295)7055 Mail：info@nnct-doso.net

編集後記

母校では4/7（月）に本年度の入学式となり、それに合わせるかのように学校の桜も開花してきました。本年度も皆様のご協力をいただき同窓会だよりを発行し、皆様へお届けすることができました。卒業生が増えていく中、各年代の皆様から様々な情報をお寄せいただけるようになりました。いただきました原稿は可能な限り原文のまま掲載させていただいております。今後も同窓会だよりをもとに、同窓生皆様の様々なつながりができていきますよう期待をさせていただきます。本年度も有志各位のご協力で読者様へのプレゼント企画ができました。また技術振興会企業様からは多くの広告をご寄稿いただきました。ご協力いただきました皆様にこの場をお借りしまして感謝申し上げます。（編集担当 市川）